

Chase a Dream

夢に向かって羽ばたけ ①

目指すは何でもできる オールラウンドプレイヤー



「夢」は今年の全国大会で入賞すること」と、大きな目標に向かって練習に励んでいる、平戸中学校3年の松浦ゆうきさん。昨年の県中総体柔道女子44kg級で優勝するなど、これまででも多くの大会で好成績を収めている実力者です。

松浦さんは5歳から柔道を始め、現在は、部活と週3回の道場通いで、技を磨いています。得意技は「背負い投げ」。小さいころからの得意技で「最近はおく試合でも決まるようになってきました」と、今では格段に精度が上がってきています。

「私は、練習の時から試合を想定しながらやっています。そうすることで、緊張感が出て、自然と集中することができます」と、練習に対する意識の高さがうかがえます。また「試合前は、必ずイメージトレーニングを行い、勝つイメージを大切にしています。それと、大会が近づくと、よく大会に出た時の夢を見るんですよ」と、試合前の緊張が垣間見える一面も。

目標にする選手を尋ねると「福岡県の1つ学年が上の選手ですね。全国大会を2連覇していて、寝技も立ち技も何でもできるオールラウンドな選手で、私もそのような選手になりたいです」と、声を弾ませながら答えます。

また「指導者の先生たちは、技術的なことだけでなく、礼節もしっかり指導してくれるので、感謝しています。親には柔道を習わせてくれてありがとうと言いたいですね」と、感謝の気持ちも忘れず夢に向かって頑張っている姿に、無限の可能性を感じました。

応援団から一言

『今、この瞬間を大切に』 母・しのぶさん

幼いころ、体を動かすのが大好きな反面、自分の意志を貫こうとする、言わば頑固者でした。

柔道を通して弱い自分を受け入れ、挑戦し続けることで、人として成長していると感じています。すべてのことに感謝し、自分を信じて今できることを精一杯頑張りたいと願っています。



平戸中学校
3年
松浦ゆうきさん
岩の上町

母、兄、姉とも柔道経験者という柔道一家。
課題という体力強化に向け、日々練習に邁進中